

### A. ドルネル

Antoine Dornel

#### 組曲 第1番 ト長調 Op. 2 より

Suite No.1 G major from Op. 2

### N. シェドヴィル

Nicolas Chédeville

#### ヴィヴァルディの「忠実な羊飼い」

#### ソナタ 第6番 ト短調

Sonata No. 6 G minor from "Il Pastore fido" attributed to Vivaldi

### J. オトテール

Jacques Hotteterre le Romain

#### 組曲 ト短調 Op. 5-1

Suite G minor Op. 5-1

#### 組曲ソナタ 二長調 Op. 5-3

Suite Sonata D major Op. 5-3

### F. ケープラン

François Couperin

#### オルドル 第14番

#### 「恋するうぐいす」「勝ち誇るうぐいす」

Ordre No. 14, Rossignol en amour, Rossignol vainqueur etc.

### A. D. フィリドール

Anne Danican Philidor

#### リコーダーのためのソナタ 二短調

Sonata for Recorder D minor

### 曾根麻矢子

Cembalo



©Haruyuki Kameo

# 仏蘭西の リコーダー音楽



## 小池耕平

Recorder

### FUKUOKA

2020年4月9日[木] 19:00開演  
福岡 あいれふホール

### TOKYO

4月10日[金] 19:00開演  
東京オペラシティ 近江楽堂

### SAKATA

4月11日[土] 16:00開演  
酒田 ジョンダーノホール

後援：日本チェンバロ協会

# 仏蘭西の リコーダー音楽

今回のリサイタルでは久しぶりにフランス・バロックの音楽だけを取り上げます。  
まず今回の軸となるヴォイス・フルート(アルト・リコーダーより約3度低いD管のリコーダー)を使って楽調で演奏するドルネル Dornel とオトテール Hotteterre のトラヴェルソ用組曲です。ドルネルはマイナー作曲家ですが、堅実な構成力と濃い内容をもち、しかもそれらをフランス流の流麗さと軽みのある音楽として作り上げています。オトテールは独奏用の第2作品集 Op.5 からあまり演奏される機会のない組曲第1番と有名な第3番。第1番ト短調はシリアスで大規模なフランス風の組曲。ふんわり軽い気分の第3番二長調はイタリアの大家コレッリのヴァイオリン・ソナタを本歌取りした構成。若い頃にローマに滞在し帰国後にはフランス王室に勤めたオトテールならではの対照的な2曲。アルト・リコーダーで演奏するのはシェドヴィル Chédeville による「ヴィヴァルディの忠実な羊飼い」とフィリドール Philidor のソナタという定番2曲。イタリア寄りとフランス寄りの対照的な内容を、ケープラン Couperin のオルドル(組曲)は元来チェンバロ独奏のための作品ですが、ソプラノ・リコーダーとチェンバロのコンサート(合奏曲)仕立てで演奏します。

使用するヴォイス・フルートはドイツのリコーダー製作家ネツェ・メツェルが作ったデュビイ Dupuis モデル。デュビイは17世紀末にパリで管楽器を製作していたようで、現存する数本の楽器はどれも独特の曲線を描いた象牙のジョイントに黒っぽいドットを埋め込んだ装飾がされた特徴的な外観をしています。幅が狭いチューブから出てくる音は高い密度を持ち、ふんだんに付けられた象牙による力強さを持った、特別な音色のリコーダーです。シェドヴィルとフィリドールのソナタで使うアルト・リコーダーは木下邦人のブレッサン Bressan モデル。ケープランでは鎌久島謙が作ったテルトン Terton モデルのソプラノ・リコーダーを使います。(ピッチは全てa<sup>1</sup>=415Hz)

フランスものでなくてもプログラムを組むことにした時に共演者として真っ先に思いついたのは曾根麻矢子でした。要はこの日本で最上のチェンバロ奏者です。鍵盤に触れるだけでフランスの空気を運んで来てくれるはず。リコーダーとチェンバロによる1700年代初頭のフランス音楽をお楽しみください。

小池耕平 Koike Kohei Recorder

1963年福岡生まれ。福岡市立東小中学校、長浜中学校、福岡県立修徳高等学校卒業。九州大学文学部西洋史学科(フランス近代史専攻)卒業。大学在学中から演奏活動を始め、卒業後、福岡県立大学音楽学部研究科(音楽資料リコーダー専攻)に進み、1989年に修了。リコーダーを花岡梓生に師事。有田正広、飯本繁正史、ワルター・ファン・ハクヴェ、故ブルース・ヘインズらのレッスンも受ける。現在、日本各地において、リコーダーのソリストとしてもバロック室内楽アンサンブルで演奏会を行なっている。また、小学校の訪問演奏活動も続けている。2007年にはヴァイオリンのジーン・トムと録音公演。2009年の東京リコーダー音楽祭(読売新聞社主催)では本人のリコーダー・ソリストカーとして選ばれ出演。2010年11月にはロンドンのヘンデルハウス博物館のライヴ・ミュージック・シリーズでヘンデルのソナー・ソナタ全曲演奏。さらに東京を拠点に活動しているが、2018年11月より福岡市住友NHK文化センター福岡リコーダーアンサンブル講師。また必ずと毎日リコーダー講師。東京音楽協会のリコーダー講師。CD:『G.Pr.テレマン・リコーダー・ソナタ全曲』(ALM Records / ALCD-1059)、『F. Kalkbrenner Dm』(イタリアの旗) (ALM Records / ALCD-1091)、『ヘンデル・リコーダー・ソナタ集』(ALM Records / ALCD-1137)、『ジャーバー・リコーダー・ソナタ 全6巻』(ALM Records / ALCD-1182)

曾根麻矢子 Mayako Sone Cembalo

実力、人気ともに日本を代表するチェンバロ奏者。1986年ブルー・ジュエリー国際チェンバロ・コンクールに入賞。超スコット・ロイスに指導を受ける。1991年エルトゥール・シレーベル杯の日本人演奏家としてCDデビュー。リサイタル、室内楽と積極的に活動し、とりわけ2003年~09年6年間12回にわたる2、3バッチ連続演奏会。2010年~14年全12回のオーブロン・ラウエのチェンバロ作品全曲演奏会にて好評を博した。2018年、スカルラッチのソナタ全506曲を演奏するフェスティバル(スカルラッチ100)151回に出演。録音は『ふるバッチ・コルトヘルク変奏曲』他14枚のソロCDもリリース。祖先音楽賞、鹿野志朗音楽大賞賞状賞を受賞。2011年より2018年、『チェンバロ・フェスティバル』を東京(芸術監督を務めた。2020年初より、HAKUJU HALLを舞台に、バッチの主要作品を数年間において演奏するコンサートシリーズをスタートさせる。曾根麻矢子オフィシャル・ウェブサイト <https://www.mayako-sone.com/>



### FUKUOKA

2020年4月9日[木]  
19:00開演(18:30開場)

#### 福岡 あいれふホール

福岡市中央区舞鶴2-5-1 地下鉄空港線赤坂駅3番出口から徒歩5分

前売4000円 当日4500円

【ご予約・お問合せ】

フラウト・ディリット <http://fdrinto.exblog.jp>

fukuo\_drnto@icloud.com (小池)

オフィスアルシェ tel.03-3565-6771

【チケット取扱い】

イープラス e+ <https://eplus.jp/>

### TOKYO

4月10日[金] 19:00開演(18:30開場)

#### 東京オペラシティ 近江楽堂

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3F

京王新線初台駅東口から徒歩3分

前売4000円 当日4500円

【ご予約・お問合せ】

オフィスアルシェ tel.03-3565-6771

【チケット取扱い】

東京オペラシティチケットセンター tel.03-5353-9999

東京古典楽器センター tel.03-3052-5515

イープラス e+ <https://eplus.jp/>

### SAKATA サロン・コンサート第66回

4月11日[土] 16:00開演(15:30開場)

#### 酒田 ジョンダーノ・ホール

山形県酒田市富土見町3-2-3 くらき脳神経クリニック

JR酒田駅南口徒歩5分

前売3000円 当日3500円 高校生以下1500円

【ご予約・お問合せ】

tel.0234-31-7151 (くらき脳神経クリニック)

tel.090-6252-6620 <https://kurokinc.at.webyr.info>

©Copyright